

<令和5年度報告>

令和4年度 階上町教育委員会の 事務の点検及び評価 に関する報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育に関する事務が階上町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し、報告するものです。

階上町教育委員会

◆まえがき

階上町教育委員会では、第5次階上町総合振興計画の基本理念を踏まえ、「未来をになう人づくり」に向け、人間尊重の精神を基調として、変動する社会に主体的に対応できる町民の育成を目指し

- 1 豊かな心と個性を育む学校教育の充実
- 2 生きがいのある生涯学習の推進
- 3 地域に根ざした文化・スポーツの振興

を、関係機関・諸団体と連携を図りながら推進しております。

この報告書は、階上町教育委員会の取組について、外部の学識経験者などから意見を伺いながら点検及び評価を実施し、その点検結果について総括的評価を頂いた結果を取りまとめたものであり、今後の教育行政の推進及び町民への説明資料に資するため作成したものです。

町民の皆様には、本報告書を御覧いただき、階上町教育委員会の取組について御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月

階上町教育委員会

目 次

I	点検及び評価の概要	
1	階上町教育委員会評価の流れ	…………… P 2
2	事業の評価	…………… P 3
3	評価結果の公表	…………… P 4
4	P D C Aサイクルの確立にむけて	…………… P 4
5	点検評価アドバイザー会議の概要	…………… P 5
II	令和4年度 階上町教育委員会の方針と重点	
1	教育基本方針・教育目標	…………… P 6
2	学校教育の指導の方針と重点	…………… P 6
3	社会教育の指導の方針と重点	…………… P 9
4	スポーツ振興の方針と重点	…………… P 10
5	文化財保護の方針と重点	…………… P 10
III	令和4年度階上町教育委員会の主要施策	…………… P 12
IV	評価アドバイザー（学識経験者）による意見	…………… P 14
V	階上町教育委員会評価結果一覧表	…………… P 17
	令和5年度報告事業点検評価シート 学校教育グループ…	P 18
	令和5年度報告事業点検評価シート 社会教育グループ…	P 25
	【参考資料】	
	※令和4年度教育委員会審議案件等一覧	…………… P 36
	※階上町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱	…………… P 39
	※関係法令	…………… P 40

I 点検及び評価の概要

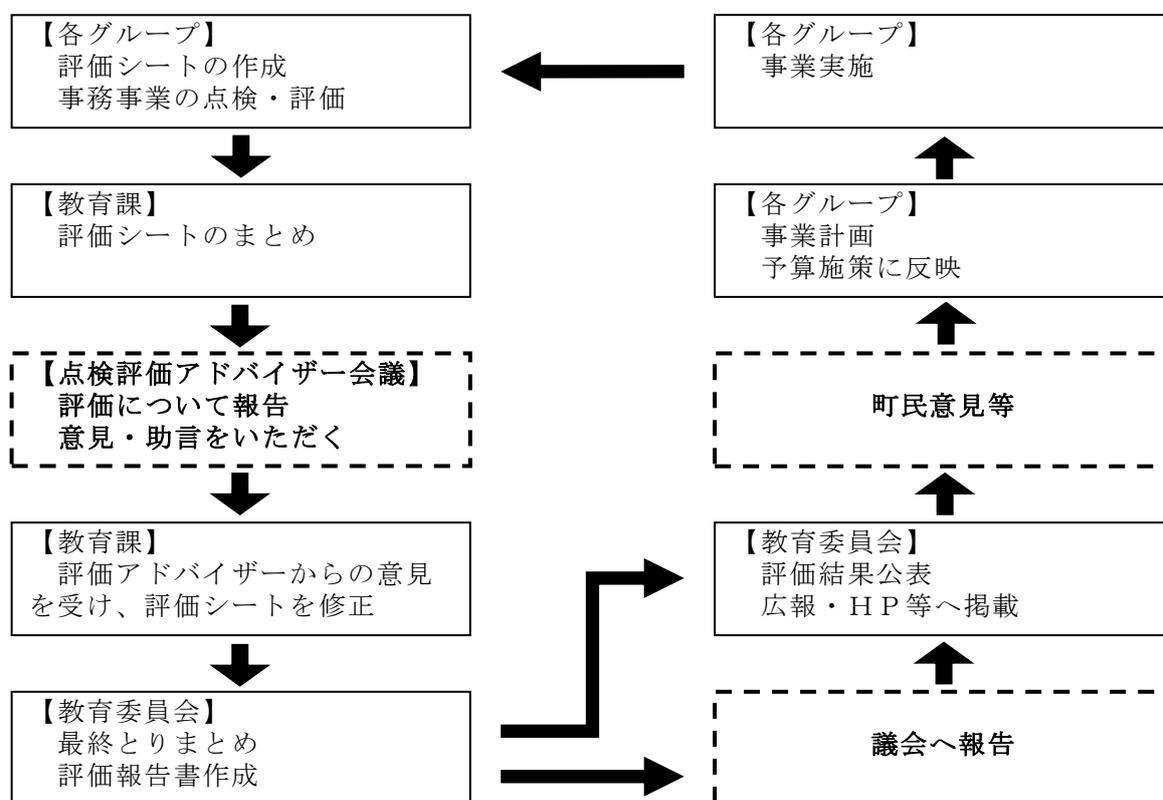
1 階上町教育委員会評価の流れ

評価は各事業等について、所管グループが評価シートを作成することから始まり、行政内部による評価を行います。この行政内部による評価内容について、点検評価アドバイザー（学識経験者）から評価内容の客観性の検証と、改善に対する助言等をいただきます。

その総括的評価を頂いた結果を取りまとめたものを議会へ報告し、評価概要や評価表を公表します。

また、公表により町民の皆さんからいただく意見、要望も参考にし、今後の事業計画に反映していきます。以上のサイクルを毎年繰り返すことで、事業の改善を進め、町民のニーズに沿った教育行政の運営に努めます。

評価の流れ



2 事業の評価

(1) 評価観点

①必要性

現在の町民のニーズや社会情勢等に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

②有効性

施策や運営方針、町で策定した総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

③経済・効率性

事業コストがかかりすぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか無駄がないかなど、経済性の面から評価します。また、事務作業に無駄がないか、更なる効率化が図れないかを評価します。

④目標達成度

目標の達成状況を評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかとも検討します。

◎総合評価：事業の各評価項目を勘案し、総合的に評価を行います。

総合評価のランク

A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果が殆ど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

(2) 判定説明及び考察

各評価項目の評価結果の総括や、今後の課題や抱えている問題などについて、事業全体の視点から捉えた総合的なコメントを記入する。特に課題や問題点が明確になるよう留意する。

(3) 事業の方向性

上記の評価結果を踏まえて今後どのように事業を進めるかを選択する。

3 評価結果の公表

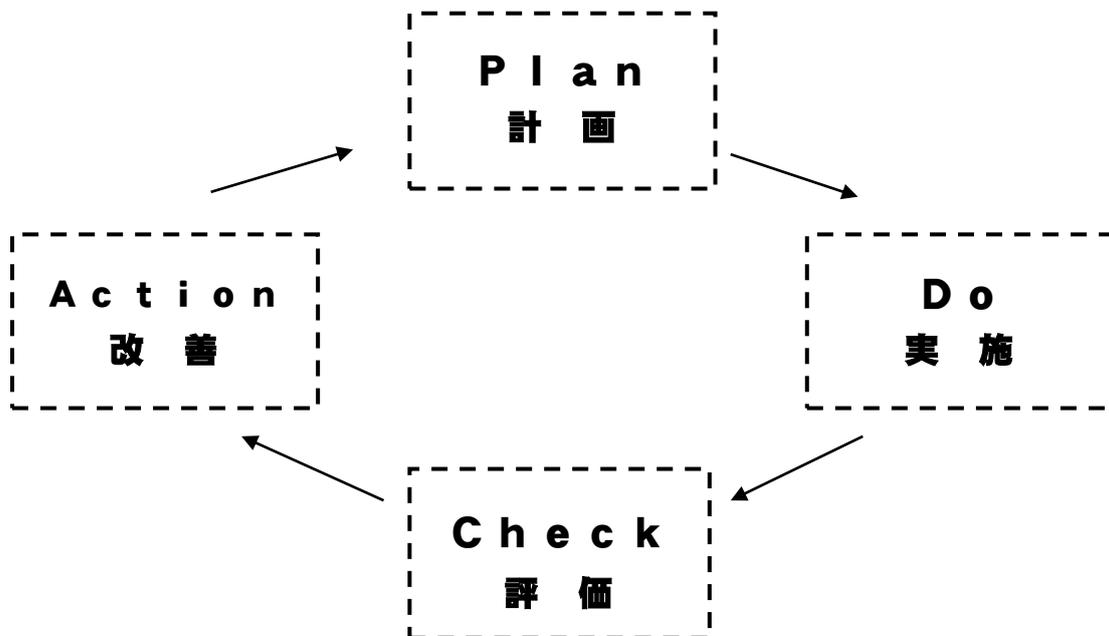
公表に際しては、各グループの評価シートを元に総括のページを取りまとめ評価報告書を作成し、議会へ報告します。また、各評価シートはホームページに掲載し、町民からの意見も広く聴取します。

4 P D C Aサイクルの確立にむけて

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体的教育行政を執行するものです。

これまでも、施策や「事業計画（PLAN）」をするときには、必要な検討を行い、「実施（Do）」してきましたが、町民生活を取り巻く環境も大きく変化し、町教育行政に対する町民ニーズも多様化・複雑化する中で、既存の施策や事業の効果が現時点で十分に現れているか、町民の役に立ち町民満足度を高めているかなど、その成果を検証して「評価（Check）」し、着実に「改善（Action）」していかなければなりません。

予算や人員など経営資源の配分、施策や事業の選択と重点化などの判断を行う上でも、行政評価の成果を十分活用し、改革・改善を進めていくことが望まれます。



5 点検・評価アドバイザー会議の概要

(1) 令和5年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
佐藤 邦彦	前階上町立階上中学校長
藤田 裕司	前階上町立道仏小学校長

(50音順、敬称略)

(2) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回 点検・評価アドバイザー会議（令和5年9月19日開催）
 《内容》・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
 - ・事務事業評価について
 - ・点検及び評価の実施方法に関する意見について
- ・第2回 点検・評価アドバイザー会議（令和5年10月16日開催）
 《内容》・報告書まとめ
 - ・評価アドバイザーの意見について

Ⅱ 令和4年度 階上町教育委員会の方針と重点

1 教育基本方針・教育目標

(1) 教育基本方針

階上町教育委員会は、第5次階上町総合振興計画の基本理念「未来をにやう人づくり」に向け、令和4年度青森県教育委員会、三八教育事務所の指導方針と重点を踏まえ、各関係機関・諸団体と連携を図りながら、人間尊重の精神を基調として、変動する社会に主体的に対応できる町民の育成を目指した教育の推進に努める。

(2) 教育目標

- ① 学校・家庭・地域・行政が一体となって、夢や志の実現に向けて「豊かな心と確かな学力、健やかな体」を育み、広く社会の発展に貢献できる人財の育成に努める。
- ② 一人一人が文化やスポーツに親しみ、心のふれあいを求めて共に学びあう、豊かでうらおいのある生涯学習社会の形成に努める。
- ③ 階上町民としての連帯意識と愛郷精神の高揚を図り、町民憲章の具現化に努める。

2 学校教育の指導の方針と重点

(1) 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

(2) 重点

① 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等において、主体的・対話的で深い学びを通して確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 主体的・対話的で深い学びの実現を図る指導計画等の整備

イ 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成に向けた教材研究の深化

ウ 一人一人の学習の過程や成果の的確な把握と指導の改善につながる評価の工夫

エ 各教科等の特質に応じた体験活動や問題解決的な学習を重視した指導の工夫

オ 学校図書館やICTなどを活用した子どもの学びを支援する学習環境の充実

カ 総合的な学習の時間の充実

② 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通じて道徳性の育成に努める。

ア 道徳教育を推進する指導体制と全体計画の整備・充実

イ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

ウ 郷土を愛する心を育む指導の充実

エ 道徳科における学習状況及び道徳性に係る成長の様子の継続的な把握と、評価を生かした指導の工夫

③ 特別活動の充実

一人一人の子どもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくことができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

ア 自主的な態度を育てる学級活動活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童生徒の個性の伸長を図り、触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 集団への所属感や連帯感を深める学校行事の工夫

④ 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体として捉え、健やかな体を育む教育の推進に努める。

ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実

イ 健康に関する知識を身に付け、積極的に健康な生活を実践できる指導の充実

ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実

エ 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導の充実

⑤ 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。

ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導体制の充実

イ 家庭や地域社会及び関係機関等との連携の充実

ウ 生徒指導の機能を生かした学年・学級経営の充実

エ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

オ 児童生徒が主体となるいじめ防止活動の推進と組織的な対応の徹底

⑥ キャリア教育の充実

一人一人の子どもが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。

ア キャリア教育指導体制の整備・充実

- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観の育成

⑦ 特別支援教育の充実

発達障がいを含む障がいのある子どもなど特別な配慮を必要とする子どもが、障がい等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の充実
- イ 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 交流及び共同学習による相互理解の促進
- エ 学習支援員、生活支援員の有効活用

⑧ 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間とのかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 各教科等間の関連を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験活動の充実

⑨ 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

⑩ 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報モラルを含む情報活用能力を身に付けることができるよう、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるICTの適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進
- エ 家庭や地域社会と連携した情報モラルに関する指導の充実

⑪ 研修の充実

教員等の資質を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・実践的な研修の充実に努める。

- ア 教員等の資質の向上に関する指標を踏まえた研修の推進
- イ 日常的に学び合い、指導力を高め合う校内研修体制の整備・充実
- ウ 学習指導要領に基づく実践的研究の充実
- エ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- オ 家庭や地域社会と連携し、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の研究・推進

⑫ 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

ア 学校運営・学級経営の創意工夫

イ 複式指導の工夫・充実

3 社会教育行政の方針と重点

(1) 方針

町民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、人と人のつながりを大切に感じる豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしたつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

(2) 重点

① 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

学校・家庭・地域の連携を強化し、自ら生き方を考え、心豊かでたくましい青少年の育成に努める。

ア 地域学校協働活動の促進

イ 地域が支えるキャリア教育の充実

ウ 子どもの読書活動の充実

エ 家庭教育支援の充実

オ 青少年の体験活動の充実

② 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

活力ある地域コミュニティ形成のため、地域活動に主体的に取り組む人財を育成するとともに、人財相互のネットワークづくりに努める。

ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成

イ 次代の地域を担う若者の育成

ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

③ 生涯を通じた学びと社会参加の推進

町民一人一人の主体的な学習活動と社会参加活動の支援の充実により社会全体の教育力の向上に努める。

ア 高齢者や障がい者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実

イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

④ 社会教育推進のための基盤整備

生涯学習の振興に資する社会教育推進基盤の整備・充実に努める。

ア 社会教育推進体制の充実

イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上

エ 社会教育関係団体等の活動の支援

4 スポーツ振興の方針と重点

(1) 方針

町民一人一人が、生涯にわたり健やかで活力に満ちた生活を送ることができるよう、体育協会や各種競技団体との連携を強化し、スポーツ機会の拡充とスポーツに携わる人財づくりに努める。

(2) 重点

① 地域スポーツの推進

地域住民のニーズに対応した多様な地域スポーツの推進に努める。

- ア ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- イ 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実
- ウ 地域のスポーツ環境の整備・充実
- エ 競技スポーツの推進
- オ スポーツによる地域の活性化

② スポーツに関わる人財の育成と活用

スポーツ推進委員の専門性を高めるとともに、地域のスポーツサポーター等を活用した各種大会を開催し、人財の育成に努める。

- ア スポーツ推進委員の研修会への積極的な参加奨励
- イ スポーツ推進委員の専門性を生かす場の拡充
- ウ 大会等を支援するボランティアの募集・登録と活用

③ 地域のスポーツ環境の整備・充実

体育協会や各種競技団体の連携により、地域住民があらゆる機会とあらゆる場所において、生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりに努める。

- ア 各種スポーツ情報の収集・提供
- イ スポーツに関する相談体制の充実
- ウ 総合型地域スポーツクラブの充実
- エ 町内スポーツ施設の有効活用・利用促進

④ 第80回国民スポーツ大会の開始準備

第80回国民スポーツ大会の実施に向けた準備を円滑に進めるため、第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会等との連携及び競技力の向上・気運の醸成に努める。

5 文化財保護行政の方針と重点

(1) 方針

郷土への愛着と誇りを培い、うるおいと活力のある町民生活を実現するため、伝統芸能の保存や後継者育成支援など次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存とその活用に努める。

(2) 重点

① 文化財の保護・保存

かけがえのない文化財を次代に伝えるため、適切に管理し、保護・保存に努める。

ア 文化財の調査や記録作成を行い、町文化財指定の推進

イ 指定文化財の保存・修理と防災施設整備の充実

ウ 文化財を大切にし、守り伝えようとする意識の啓発

② 文化財の公開と活用

町民が文化財に興味・関心を持ち、親しめるよう、公開・活用と情報発信に努める。

ア 文化財の公開・活用の促進と情報発信

イ 文化財や関連施設のネットワーク化と広域的活用

③ 伝統芸能・技術の継承

地域で生まれ、保存・伝承されてきた伝統芸能や技術の継承に努める。

ア 伝統芸能・技術の保存及び後継者の育成

イ 伝統芸能・技術の発表機会の充実

ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進

④ 資料収集施設の整備充実

町民が文化財に触れ、体験・体感できる機会の充実と情報発信に努める。

ア 資料収集施設の展示・教育的普及・調査研究活動の充実と情報発信

イ 埋蔵文化財の研究活動と収蔵機能の充実及び情報発信

Ⅲ 令和4年度 階上町教育委員会の主要施策

1 特別支援教育支援員派遣事業（継続）

発達障がいを含む障がい等により教育的配慮を必要とする児童生徒を支援するため、学習支援員及び生活支援員を派遣し、特別支援教育の充実に努める。

学習支援員－11名 生活支援員－2名

2 こまっ子教室（通級指導）支援事業（継続）

赤保内小学校に通級指導教室を開設し、障がいによる学習や生活上の困難の改善・克服を目的とする自立活動を支援し、特別支援教育の充実に努める。

3 小学校における英語専科事業（継続）

町内4小学校に、中学英語免許を持つ教員を派遣し、3年生以上の児童の英語教育の充実に努める。

4 語学指導外国青年招致事業（継続）

小学校での外国語活動が必修化したことに伴い、語学指導外国青年を2名体制とし、小学校と中学校に分かれて、外国語の指導助手として支援する。

5 GIGAスクール運営支援センター事業（新規）

町内の児童生徒すべてに配備したタブレット端末が有効に利活用できるよう、使用方法や問い合わせの対応等のため、新たに八戸市と連携して「ヘルプデスク」を設置し円滑な運用を図る。

6 特色ある学校づくり推進事業（継続）

「未来を担う人づくり」を掲げる町の振興計画に基づき、地域の自然、歴史、文化、人財を活用した体験を重視した学校の特色ある活動に対する支援を継続し実施する。 小学校 － 4校 中学校 － 2校

7 理科教育振興事業（継続）

- ・理科教育振興法に基づく理科教育振興の一環として理科教材教具等の整備を町内小中学校2校で実施する。（補助率：1/2） 石鉢小・道仏中
- ・小学校に理科の観察、実験の準備、調整等を行う補助員として、理科観察実験アシスタントを継続して全小学校配置する。（補助率：1/3）
理科観察実験アシスタント － 2名配置（各2校担当）

8 エネルギー教育支援事業（継続）

原子力及びその他のエネルギーに関する教育に係る教材教具の整備等を町内小学校で実施する。（補助率：10/10） 階上小

9 自分チャレンジ促進事業（継続）

中学生が受検する日本漢字能力検定試験、実用英語技能検定、実用数学検定の3つの検定料について、その一部をそれぞれ年1回定額助成する。

10 学級現状調査診断委託事業（継続）

よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査（ハイパーQ U診断）を全児童生徒対象に年2回実施し、診断結果を不登校やいじめ防止、あたたかな人間関係づくり等に活用する。

11 奨学生ふるさと定住促進補助金（継続）

若者の定住促進と地域の活性化を図るため、奨学金を受けて修学し、学校卒業後町内に居住する方が償還する奨学金を補助する。

（補助額：前年度償還額の1/2 ただし、限度額を貸与総額の1/10の1/2とする）

12 小中学校補修工事（新規）

老朽化に伴う破損箇所等の交換や補修工事を行う。石鉢小学校ブローア交換、赤保内小学校体育館外壁及び渡り廊下屋根補修、階上中学校体育館玄関（庇）補修

13 八戸地方えんぶり調査事業（継続）

八戸市、南部町、おいらせ町との共同により、えんぶりに関する歴史や地域的特色などの記録を作成し、後世に保存・伝承していく。

14 スポーツ推進事業（継続）

生涯スポーツの振興とともに健康増進と親睦を図るため、「はしかみりレーマラソン」を実施する。

15 体力向上事業（継続）

自転車を活用した体力向上、健康増進、レクリエーションスポーツの推進を図る。

16 体育施設活用事業（継続）

小中学校の体育館等を開放し、体育施設の利用調整や開放指導員の配置を行う。

17 読書活動の推進（新規）

第3次子ども読書計画の策定に基づき、ブックスタートや読み聞かせ研修会等による読書活動の推進を図る。

18 道仏公民館床張替工事（新規）

床シートが盛り上がっている箇所があり、利用者の安全のため、床を張り替えるを図る。

IV 評価アドバイザー（学識経験者）による意見

階上町教育委員会の事務の点検及び評価報告書を、階上町の教育方針、学校教育の方針と重点および社会教育の方針と重点に鑑み拝見したので、所見の一端を述べます。

初めに、特記すべき事項として

- 1 コロナ出現により、タブレット使用の授業開始が早まり、それも今ではスタンダード化し、その使用と管理についても、指導技術等のインプットとアップデートが常に求められている。また、児童生徒一人一人の抱える課題が一層多様化していることから、特別支援教育のニーズが増し、その対応と指導には常に難しさがつきまわっている。これらの点について、教育環境の整備充実（GIGAスクールの整備）を図ることとインクルーシブ教育システムを充実させるべく、人財確保に努めることで、その成果も上がっている。今後ともインクルーシブ教育の充実を一層推し進めてほしい。
- 2 感染予防の観点から、生涯学習推進のための事業が思うように開催できない状況が続いた。住民の学習機会や交流の機会が減ることにより、人とのつながりを深めにくい状況も予想される。このような状況の中、教育委員会においては、前年度の経験を踏まえ、感染予防対策に留意しながら事業を実施する新しい方法を模索し、創意工夫して取り組んできたと思う。これまでの形にとらわれず、学習機会の提供や未来を担う人づくりに取り組んでほしい。

具体的には

- 1 小学校での英語科指導の始まりに対応して、英語免許所持者による英語専科事業を開始したことは先進的で有効な取組である。小学校での指導は中学・高校の英語に向けての基礎作りであることから、英語独特の音声に十分に慣れ親しんでいるか？ということと主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度が養われているか？ということの評価が必要となる。そのためには、中学1年生の現状について、中学校教員からの率直な聞き取り等を行い、中学校での学びの進化と学力の向上につなげるための小中連携を大切にすることで、事業の充実を図ってほしい。自分チャレンジ事業は、確かな学力構築のための大きな一助になるものと確信している。よって、数値目標設定の上で、その数値をクリアできるよう現場と行政の協働を期待するところである。
- 2 教育現場での児童生徒指導対応は複雑化し常に難しさを呈している。よって、旧来の教育哲学のみでは指導上の難しさを払拭し切れずにいる。そこで、ハイパーQUによる科学的手法を活用し、健全な学級集団作りや集団改善に取り組んでいることは評価に値する。また、スクールソーシャルワーカー派遣事業も大変有益な取組

である。ただし、スクールソーシャルワーカーに対する学校側の要望は毎年違ってくると思われるので、改善を図るための打ち合わせを持つなどして、確実に成果を上げてもらいたい。

- 3 「教育は人づくり」を実現するためには、「環境が人をつくる」を根底に据えて、学校教育における「心の育成」に向けた環境整備を推進してもらいたいと強く願っている。これについては、「学校施設長寿命化計画」が策定され、法的・自主的点検による施設寿命の延命を図っていることは高く評価される点である。今後も、安全・安心な環境づくりを推進することで、子どもたち一人一人の「心づくり」を進めてもらいたい。
- 4 様々な体験活動や郷土芸能の継承・保存活動によって、子どもたちが地域とつながり、人とつながることができる。このつながりが地域で人を育てることにつながっている。よって特色ある学校づくり事業は、この取組を支えていくために非常に役立っている。また、いのちを育む教育アドバイザー事業は、未来ある子どもたちには欠かすことのできない大切な事業である。この「性教育」には専門の講師を確保し、3年間の発達段階に応じて計画的に実施することで、性に関する知識と心の持ち方をインプットし続けてほしいと願っている。さらには、小学校高学年への指導も検討していくべき時期ではないかとも考える。
- 5 特別支援教育に関して、WISC-IV検査の外部委託や未就学児の保護者に対する面談に有識者の協力を得るといった対策を講じることで、適正な就学につながっていることは高く評価したい。また、課題となっている特別支援教育支援員の確保については、町で公募し、適時に面談する体制を取られたことで見通しも明るくなっている。今後も、支援員適正配置の予算確保に取り組み、子どもたちの学力と安全の確保に努めてもらいたい。
- 6 学ぶ意欲があり、かつ成績優良にもかかわらず、経済的理由により就学困難な者に対する金銭的支援は、「未来を担う人づくり」に大きく貢献している。ただし、返済未納については、その現状を的確に把握し、少しでも解消できるよう対策を打ち出してもらいたい。
- 7 新型コロナウイルス感染予防をしながら、成人式、家庭教育学級、ブックスタート等を実施できたことは評価したい。階上町では、令和3年度に、第3次子ども読書活動推進計画を策定した。今後も、読書環境の整備と、読書活動を支える体制作りに取り組みしていくことを期待する。また、青少年活動の充実のために、リーダーズを活用したり魅力的なプログラムを提供したりと工夫を凝らしている。これからも様々な事業に意図的に青少年を取り込んでいくことを継続することが、地域を担う若者の育成につながるものと考えられる。
- 8 公民館等においては、感染予防に注意しながら、社会教育事業の実施に力を注いだことは、大いに評価できる。町民文化祭会場をハートフルプラザ・はしかみと町

民体育館に戻し、新しい形で実施したところ、多くの来場者があった。住民の、公民館事業に対する関心と期待が大きいことがうかがえる。感染予防に配慮した講座の開催方法を工夫したり、町民による運営委員会を組織したりと工夫している。また、高校や大学と連携し、まちづくりの担い手育成にも取り組んでいる。今後も、新たな生活様式を取り入れた学習機会の提供に努め、さらに活性化を図るために、引き続き公民館、関係各課、大学、各種団体等との連携と取組を進めていくことが重要だと考える。

- 9 町民の文化財への愛着や郷土への認識を深め、町の文化遺産に対する理解促進のため、民俗資料の展示、資料館の開放、ボランティアガイドの活用、郷土誌の発行等により、町内遺跡や天然記念物の保存活動に努めたことは、大いに評価できる。今後も、文化財の積極的な保護・保存と活用のために、中心的存在となる施設の整備を図っていくことが必要と考える。
- 10 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育行事がほとんど中止になった。その中でも、新しい形のスポーツイベントを開催したことは、大いに評価できる。スポーツ少年団意見交換会を開催し、スポーツ活動の地域移行に向けて意識の啓発を行っていることも、大いに評価できる。今後は、中学校部活動の地域移行に向けて、体制を整備していければと考える。

終わりに

- 1 多様性を認めた教育のあり方と社会のあり方が求められている昨今、これらのニーズに対応する学校教育事業も多岐にわたったものになっている。これら多くの事業を設定・実現することで一人一人に気配りした教育も展開されていくはずである。しかしながら、結果として多くの事業費を予算化していることから、当然その成果も求められる。したがってPDC Aサイクルの実施によって、評価・検証・改善をし、必ず目指すゴールに到達しなくてはならない。一方で教育による人づくりには、即効性を求めることが難しい取組もある。なかなか成果の見られないものでも、教育に欠くことのできないものには、常に改善と見直しを図り、僅かずつであっても着実にその「成果を上げる」ことが求められる。まずゴールを設定し、辿り着くまでやり続けることで、未来を担う人づくりが実現するものと確信している。
- 2 コロナ禍の影響で、社会教育事業がこれまでと同様に進められないことが多く、苦慮したと思われる。そのような状況でも、実施方法を工夫しながら、社会教育事業に取り組んでいることは、大いに評価できる。学びを止めず、人とのつながりを切らさないために、コロナ禍の中でもどのような方法で学習機会を提供し、人財育成を図っていくかについての問題解決の機会と捉え、生涯学習の推進に当たってほしい。

階上町教育委員会評価アドバイザー

氏名 佐藤 邦彦

氏名 藤田 裕司

V 階上町教育委員会評価結果一覧表

No.	事業名	所管グループ	総合評価
1	確かな学力	学校教育グループ	A
2	児童生徒の健全育成	〃	A
3	教育環境の整備	〃	B
4	キャリア教育の充実	〃	B
5	インクルーシブ教育システムの構築	〃	A
6	奨学金貸与事業の充実	〃	B
7	健全育成活動の推進	社会教育グループ	B
8	青少年活動の充実	〃	B
9	生涯学習推進体制の充実	〃	B
10	生涯学習施設の整備	〃	B
11	生涯学習事業の拡充	〃	A
12	生涯学習活動支援体制の充実	〃	B
13	芸術文化活動の推進・文化施設等の整備	〃	B
14	文化財の保存と活用・埋蔵文化財の保存	〃	B
15	スポーツ・レクリエーション活動の推進	〃	B
16	スポーツ施設の充実	〃	B

※事業毎「事業点検・評価シート」……次頁以降掲載

令和5年度報告

「事業点検・評価シート」 学校教育グループ

事務事業名	確かな学力		番号	1		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ① 義務教育の充実		地教行法	21条4・5・8号		
			担当課名	学校教育グループ		
事業の目的	「確かな学力」を身に付け、個性と創造力豊かな児童・生徒を育成する。					
事業内容	教育振興会学校教育部会による基礎学力調査、各種事業及び研修の実施、理科アシスタントの小学校への配置、ALTの各小中学校への派遣、英語専科教員の各小学校への派遣、小学校と保育園の連携及び私立幼稚園児の保育料等の一部補助					
事業の対象	児童・生徒、教職員、保育園職員、私立幼稚園児の保護者					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		11,856	13,998	16,222	
	内一般財源 (千円)		9,983	12,239	13,738	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	教育振興会事業		千円	992	1,151	1,574
	理科観察実験アシスタント配置事業		千円	1,406 (一般財源1,097)	1,499 (一般財源1,189)	1,547 (一般財源1,259)
	語学指導外国青年招致事業(JETプログラム)		千円	7,643 (一般財源7,303)	9,872 (一般財源9,392)	10,524 (一般財源10,044)
	語学指導外国青年の配置人数		人	2	2	2
	小学校派遣回数(令和3年度より4校)		回	324	311	210
	中学校派遣回数(2校)		回	39	95	105
	英語専科事業(小学校4校への専科教員派遣)		年間 時数	916	845	840
	幼児教育連絡協議会開催(専門員会含む)		回	3	3	3
	子育てのための施設等利用給付費		千円	1,646 (一般財源422)	1,302 (一般財源333)	2,307 (一般財源591)
	" 対象者		人	6	4	5
	自分チャレンジ促進事業		千円	169 (一般財源169)	174 (一般財源174)	270 (一般財源270)
	各検定補助人数(漢検、英検、数検)		人	漢88、英49、数32	漢86、英43、数45	漢90、英90、数90
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加		<input type="checkbox"/> 横ばい		<input type="checkbox"/> 減少	
	<input type="checkbox"/> かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> 概ね寄与する		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	
	<input type="checkbox"/> できていない					
経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか。)						
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> できている		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
<input type="checkbox"/> できていない						
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)						
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> できている		<input type="checkbox"/> あまり寄与していない		
<input type="checkbox"/> できていない						
総合評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	教育振興会学校教育委員会では7部会を設置し、学力調査(NRT)の実施や結果分析・追跡調査、陸上記録会等を行っている。令和4年度においても新型コロナウイルスの影響が大きかったが、前年度よりは活動が多くできた状況。また、陸上記録会では感染対策に加え、開閉会式の簡略化や時間短縮等を実施した上での開催となった。 補助事業を活用して理科アシスタントを各小学校へ配置し、理科の観察・実験活動の充実を図っている。 外国語指導助手の小中学校への派遣も定着し、小中学校における外国語活動(英語)の充実が図られている。加えて、令和3年度からは小学校4校に中学校英語免許を持つ教員を派遣する英語専科事業を実施し、児童(3年生以上)に対する英語教育の更なる充実を支援している。 幼児教育連絡協議会を3回開催し、小学校と町内私立保育園、認定こども園の連携が図られた。 子育てのための施設等利用給付費事業により、私立幼稚園に在籍する幼児の施設利用費、預かり保育料、副食費が無償化されている。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	児童生徒の健全育成			番号	2	
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ① 義務教育の充実			地教法	21条4・9・11号	
				担当課名	学校教育グループ	
事業の目的	一人ひとりの子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してより良い生活や人間関係を築けるよう育成に努める。					
事業内容	教育相談等、要保護標準要保護児童生徒への就学援助(学用品費、学校給食費、医療費等)、健康診断等、学校給食、食育					
事業の対象	児童生徒、教職員、保護者					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		133,840	134,076	144,058	
		内一般財源 (千円)	83,921	85,145	134,532	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	心の教室相談員配置事業費(道仏中へ)		千円	224	0	0
	スクールソーシャルワーカー派遣事業費		千円	1,020	1,020	1,020
	いじめ防止対策事業		千円	745	928	1,067
	就学援助費支給額		千円	6022 (一般財源6,003)	6,835	9,526
	就学援助率		%	22.3	20.4	22.8
	学校医報償金		千円	6,318	6,318	6,318
	児童生徒・教職員等諸検査委託料		千円	2,534	2,381	3,032
	学校給食センター運営費		千円	116,977 (一般財源67,058)	116,594 (一般財源74,498)	123,145 (一般財源123,145)
	学校給食費無償化(運営費のうち材料費+補助金)		千円	51,666 (一般財源2,055)	51,181 (一般財源8,181)	55,308 (一般財源55,308)
	食育指導教室開催回数		回	24	28	28
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加		<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている		<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	児童生徒の抱える問題は多様化しており、学校とスクールカウンセラー(県派遣。令和元年度から全学校を巡回)、スクールソーシャルワーカーが連携して対応する体制を取っている。また、地域や関係機関から協力をいただき児童生徒の安全確保等が図られている。平成29年度からハイパーQU(学級現状調査)を実施し、児童生徒の声を早期発見し、いじめや不登校、学級の荒れ等の未然防止に役立っている。就学援助により、保護者等の経済的負担を軽減でき、教育機会均等の保持を図ることができている。学校保健法で定められている就学予定児、児童生徒及び全教職員の健康診断を実施し、健康維持が図られている。給食は、給食費無償化により保護者等の経済的負担を軽減するとともに、対応指針に基づくアレルギー対策の実施及び食育指導教室により児童生徒の食への意識向上につながっている。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	教育環境の整備		番号	3		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をにう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ① 義務教育の充実		地教行法	21条6・7号		
			担当課名	学校教育グループ		
事業の目的	安全で安心して利用できるよう維持管理を行うとともに、教材等の整備により教育環境の充実を図る。					
事業内容	学校施設・設備の維持管理及び修繕等、各種備品の購入					
事業の対象	児童生徒、教職員、学校施設・設備					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		92,558	176,012	105,597	
		内一般財源 (千円)	89,942	111,540	103,736	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	小中学校施設維持管理費		千円	60,729	64,816	72,660
	小中学校施設修繕費		千円	2,400	2,996	2,400
	小中学校施設等補修工事費		千円	4,070	91,096 (一般財源28,336)	13,205
	小中学校施設備品購入費		千円	1,479	1,193	2,500
	小中学校教材備品購入費		千円	2,255	2,320	1,942
	学校図書購入費		千円	1,473	1,414	900
	理科教育等備品購入費(小中各1校)		千円	1,075 (一般財源536)	1,109 (一般財源555)	1,220 (一般財源610)
	コンピュータ設備借上料		千円	6,114	3,088	1,199
	教師用指導図書購入		千円	3,310	0	0
	GIGAスクール推進費		千円	9,653 (一般財源7,576)	7,980 (一般財源6,822)	9,571 (一般財源8,320)
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	<p>学校施設・設備の管理について、経年劣化による修繕・補修箇所が増加している。そのため令和3年度に「学校施設長寿命化計画」を策定。修繕箇所発生後の事後対応を回避するため、法的に義務付けられた点検、定期的な自主点検により施設状態を把握し、計画に基づき改修を実施し、施設寿命の延命を図っていく。軽微なものについては都度対応している。</p> <p>国の5か年計画に則り、学校図書費を計上し、学校図書の充実を図っており、理科教育等備品は、国の補助金を活用して小、中学校各1校ずつローテーションで整備している。</p> <p>コンピュータ設備について、令和2年度にGIGAスクール構想に基づく1人1台端末の配備が完了したことで、各学校のPC室は廃止又は縮小となった。1人1台端末の活用については、研修会等を実施し、教職員及び児童生徒のスキルアップの促進を図る。</p>					
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	キャリア教育の充実		番号	4		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ① 義務教育の充実		地教行法	21条5号		
			担当課名	学校教育グループ		
事業の目的	家庭や地域と連携し、体験的な学習を通じて、「生きる力と夢を育む教育」の推進に努める					
事業内容	エネルギー施設見学、郷土芸能の伝承、中体連の交通費及び宿泊料等の補助、性に関する知識の習得					
事業の対象	児童生徒・教職員・郷土芸能団体					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		2,373	4,961	7,648	
	内一般財源 (千円)		2,108	4,872	7,545	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	エネルギー教育支援事業		千円	267 (一般財源 2)	89 (一般財源 0)	104 (一般財源 1)
	特色ある学校づくり事業費		千円	441	447	500
	※小学校 5万円×4校、中学校15万×2校					
	中体連等参加費補助金		千円	1,643	4,381	7,000
	いのちを育む教育アドバイザー事業		千円	22	44	44
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	補助事業により、小学校でエネルギー施設の見学や環境の状況を測定する備品を用いた授業などを通して、環境についての知識・理解を深めることができている。 各学校と地域でコミュニケーションを図りながら、田植え等の体験活動や、郷土芸能の講演会の実施等により、地域との連携が図られている。また、地域文化理解の一助となっている。 部活動における、遠征費の一部を負担することにより保護者の負担軽減を図るとともに上位大会出場のを保障できている。 中学生に対し、性に関する専門的な指導を行い、諸問題に対して適切に判断し対処できる資質や能力が育成されている。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	インクルーシブ教育システムの構築		番号	5		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ① 義務教育の充実		地教行法	21条4・5号		
			担当課名	学校教育グループ		
事業の目的	特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活の支援及び、学習環境の充実を図る。					
事業内容	教育支援委員会の充実、早期からの教育支援、就学奨励費の援助、特別支援教育支援員の配置					
事業の対象	特別な支援を要する児童生徒及びその保護者					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		28,966	31,025	35,563	
	内一般財源 (千円)		28,683	30,782	35,394	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	教育支援委員会(委員報酬・費用弁償・報償金等)		千円	184	306	513
	特別支援就学奨励費		千円	566 (一般財源283)	486 (一般財源243)	676 (一般財源507)
	特別支援教育支援員(報酬・共済費等)		千円	28,216	30,233	34,124
	学習支援員		人	10	12	12
	生活支援員		人	3	2	2
	特別支援学級合同学習会(バス借上料)		千円	0	0	250
	障害者トイレ設置済校 (赤保内小・道仏小・道仏中)		校	3	3	3
	スロープ設置済校 (階上小・赤保内小・道仏小・階上中・道仏中)		校	5	5	5
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	<p>学習・生活支援員を配置することにより、授業における教示や指示の補完・補充等を行うことで授業に集中する環境ができ、指導の充実が図られた。支援が必要である児童生徒は特別支援学級だけではなく、通常学級にも在籍しており、個に応じた指導が必要となっている。支援員配置事業の継続が必要であるが、支援員も高齢となってきた上、教職員不足もあり、配置できる人材の確保が課題となっている。特別支援学級合同学習会は在級児の成長が見られるとともに、担当教諭の指導力の向上とメンタルケアが図られ効果をあげており、コロナの影響によりリモートでの実施をしていたが、今年度はコロナ以前の活動に戻すことができ、八戸高等支援学校の見学等を実施する予定としている。教育支援委員会においては、検査の外部委託や巡回相談を実施するとともに、審議方法について見直しを行い、教員の負担軽減・専門性の向上を図っている。また、就学予定児の保護者に対する面談に対しても有識者に入ってもらい、適性な就学に向けて協力してもらっている。</p>					
事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	奨学金貸与事業の充実		番号	6	
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ② 高等教育の充実		地教行法	21条19号	
			担当課名	学校教育グループ	
事業の目的	経済的理由により、修学困難な者に対して奨学金を貸与して、修学を促進し、教育の機会均等の保障を図る。				
事業内容	階上町に生活の根拠を有し、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学及び各種専門学校の在学者及び進学することが確定した者への奨学金の貸与				
事業の対象	生徒、学生				
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	事業費 (千円)		12,079	12,622	14,544
		内一般財源 (千円)	12,079	12,622	14,544
事業実績 成果 (指 標)	名 称	単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	奨学資金貸付金	千円	9,240	9,920	11,040
	貸与者数	人	25	26	28
	うち高校等(月20,000円以内)	人	11	8	10
	うち大学等(月40,000円以内)	人	14	18	18
	ふるさと定住促進補助金	千円	2,839	2,702	3,504
	対象者数	人	59	55	68
	うち高校生	人	26	25	32
	うち大学生	人	33	30	36
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明及び考察	経済的な理由で修学が困難な者への貸付であり、その成果は大きいと思われる。今後、町財政の動向に鑑み、極力、負担を増やさぬような継続的な支援が必要である。なお、返済については、件数は少ないが返済未納が発生しておりその対策が課題となっている。 令和元年度からは、若者の町への定住促進のため、奨学金の償還額に対する補助事業(補助額は前年度の償還額の2分の1又は償還期限を均等償還した場合の償還年額の2分の1)を実施している。				
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める	

令和5年度報告

「事業点検・評価シート」 社会教育グループ

事務事業名	健全育成活動の推進			番号	7	
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ③ 青少年の健全育成			地教行法	21条12・19号	
				担当課名	社会教育グループ	
事業の目的	自らの将来に希望を持ち、社会的に自立できる健全な青少年の育成に努める。					
事業内容	家庭、学校、地域社会における教育力の充実と連携強化を図り、青少年の自主的活動の推進と環境づくりを進める。					
事業の対象	青少年					
事業コスト	区 分			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	事業費 (千円)			939	564	539
	内一般財源 (千円)			939	564	539
事業実績 成果 (指標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	成人式		千円	686	458	500
	成人式 参加者数		人	89	104	159
	家庭教育学級 事業費		千円	50	50	-
	家庭教育学級 参加数		人	616	1,004	-
	子ども読書活動推進事業		千円	61	56	39
	子ども読書活動推進計画策定事業		千円	142	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	4年度成人式は、コロナ感染対策を講じ104名の新成人が出席した。コロナウイルス感染対策のため、交歓会を実施しない代わりに抽選会やスライドショーの上映を行った。 家庭教育学級は、町内4小学校で実施し、子育てへの理解を深めたり親子のふれあいの場を提供した。 ブックスタートは、9~11か月健診時を利用し、絵本をとおして親子のふれあいを深めるきっかけづくりを行っている。 コロナ禍のため、ボランティアによる読み聞かせは実施できなかった。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する			評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める	

事務事業名	青少年活動の充実		番号	8		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第1節 豊かな心と個性を育む教育の充実 ③ 青少年の健全育成		地教行法	21条12・19号		
			担当課名	社会教育グループ		
事業の目的	自らの将来に希望を持ち、社会的に自立できる健全な青少年の育成に努める。					
事業内容	指導者の養成、ジュニアリーダー、青年リーダーの育成確保に努め、子ども会など青少年の自主的活動を推進する。					
事業の対象	青少年					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		82	72	118	
	内一般財源 (千円)		82	72	118	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	ジュニアリーダー研修会参加者数(前期/後期)		人	7	12	15
	リーダーズ企画イベントの実施		人	38	7	15
	子ども会(町子ども会育成連絡協議会補助金)		千円	27	27	27
	わんぱく王国 事業費		千円	55	45	91
	わんぱく王国 (回数/参加者数)		回/人	6/61	6/55	6/60
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	町子連の事業PRIについて、学校を通じてチラシ配布や申込用ボックスの設置等、学校からも協力をいただきながら活動している。リーダーズの企画運営によるイベント「クリスマス会」を開催し、子ども会会員以外の児童も多数参加した。リーダーとしての資質を高める機会となっている。単位子ども会数は年々減少傾向にあり、世話人などの地域指導者も不足している。 わんぱく王国は、令和3年度に引き続き、長期休業中の開催とした。新規参加者獲得のため、全小学校児童へ案内を配布した。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	生涯学習推進体制の充実			番号	9	
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第2節 生きがいのある生涯学習の推進 ① 生涯学習環境の整備			地教行法	21条12号	
				担当課名	社会教育グループ	
事業の目的	「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる環境づくりと社会参加活動の推進を図る。					
事業内容	生涯学習推進体制の充実と、学習情報の提供・相談活動の充実を図る。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区 分			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	事業費 (千円)			0	0	0
	内一般財源 (千円)			0	0	0
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	県民カレッジ学生		人	316	349	370
	子ども県民カレッジ学生数		人	2	2	5
	町広報紙へ掲載		回	38 (うち3回コロナ関連)	36 (うちコロナ関連なし)	40
	町ホームページへの掲載		回	29 (うち13回コロナ関連)	32 (うち6回コロナ関連)	35
	「学習ウォッチングはしかみ」へ掲載(年1回発行)		回	1	1	1
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	県民カレッジ学生数は講座開始時に周知しており、微増となった。引き続き、各種講座、学校等での周知の他、庁舎内関係部署での単位認定講座の指定などに取り組んでいく。 各社会教育事業(講座)ごとに、広報はしかみや町ホームページ、イベント情報誌「学習ウォッチングはしかみ」へ掲載するなど学習情報を積極的に提供し、学習相談体制の充実を図った。4年度は3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による事業の中止・変更等もあり、都度周知を行った。継続的な講座(はしかみキャンパス、生きがい中央大学)はチラシを毎戸配布している。わんぱく王国は、各小学校の児童へ配布している。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する			評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める	

事務事業名	生涯学習施設の整備		番号	10		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第2節 生きがいのある生涯学習の推進 ① 生涯学習環境の整備		地教行法	21条12号		
			担当課名	社会教育グループ		
事業の目的	「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる環境づくりと社会参加活動の推進を図る。					
事業内容	既存施設の整備充実に努め、地区生涯学習の場としての機能の向上を図る。計画的な図書充実に努める。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		21,437	29,756	29,731	
	内一般財源 (千円)		19,795	27,248	28,058	
事業実績 成果 (指標)	名称		単位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	道仏公民館運営費		千円	4,625 (一般財源4,568)	9,556 (一般財源9,503)	5,107 (一般財源5,081)
	道仏公民館利用人数(図書室含)		人	6,411	1,792	2,000
	ふれあい交流館運営費		千円	15,250 (一般財源13,734)	18,707 (一般財源16,305)	23,057 (一般財源21,410)
	ふれあい交流館利用人数(トレーニングルーム除)		人	13,005	11,526	12,000
	図書室の図書購入(再掲)	ハートフルプラザはしかみ	千円	300	299	300
		道仏公民館	千円	299	299	300
		石鉢ふれあい交流館	千円	300	300	300
	図書貸出冊数(3館計)		冊	5,853	6,465	6,500
	図書管理システム(H23年導入,R1更新)		千円	828	828	828
	道仏交流センター運営費(H28.9共用開始)		千円	734 (一般財源665)	665 (一般財源612)	739 (一般財源690)
	道仏交流センター利用人数		人	5,747	6,520	6,600
	事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 増加		<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)						
<input type="checkbox"/> 十分寄与する		<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)						
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明及び考察	4年度は4月上旬を除き、コロナ禍でも通常通り開館し、グループ活動等も行われた。図書貸出冊数も回復傾向である。道仏公民館1階の床張替え工事を行い、利用者の安全確保につなげた。 道仏公民館は貸館が中心となっており、地区生涯学習活動の拠点として、交流センターも含めた公民館講座を規模を縮小しながらも実施した。講座参加の際に、図書室を利用する方もおり、図書利用にもつながっている。定期的に利用している団体も多く、住民の学習活動の拠点となっている。 ふれあい交流館は、トレーニングルーム利用者のほか、様々なグループが活動しているが、コロナ禍により活動規模は縮小状態が続いている。					
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評価 アドバイザーの 意見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	生涯学習事業の拡充		番号	11		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第2節 生きがいのある生涯学習の推進 ② 生涯学習事業の充実		地教行法	21条12号		
			担当課名	社会教育グループ		
事業の目的	それぞれが目的を持って自主的に活動しやすい環境づくりに努め、学んだことが適切に評価され生かされる環境づくりを支援する。					
事業内容	学習機会の充実とその成果を生かせる環境づくりに努め、計画的な事業の推進を図る。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		568	1,543	1,806	
	内一般財源 (千円)		568	1,080	1,331	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	公民館講座		千円	120	110	200
	受講者数		人	173	117	130
	ふれあい交流館講座		千円	100	125	130
	受講者数		人	190	188	200
	はしかみキャンパス		千円	256	1,231	1,395
				(一般財源256)	(一般財源768)	(一般財源920)
	受講生数/延参加者数		人	58/266	59/274	80/500
	生きがい中央大学		千円	92	77	81
受講生数/延参加者数		人	21/132	28/211	32/256	
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)						
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない			
総合評価	A		優れた取組が多く、十分成果が上がっている			
判定説明 及び考察	<p>はしかみキャンパスや生きがい中央大学は、受講生による運営委員会を組織し、企画・運営等、町民が講座に主体的に関わり、プログラム等前年度アンケート等をもとに企画している。4年度もコロナ禍により規模を縮小して開催。コロナ禍でも安心して参加できる内容を計画し実施した。はしかみキャンパスでは公開講座を開催することができた。</p> <p>4年度は、道仏公民館講座を3講座(13回)、石鉢ふれあい交流館講座を5講座(19回)実施した。前年度に引き続きコロナ禍での開催となり、換気・消毒の徹底、人数を制限し十分な間隔を取って講座を実施することで参加者同士の不安解消を図るなどの対策面で工夫をした。</p> <p>今後も魅力的な学習機会の充実と、講座終了後に自主活動グループの形成につながるような働きかけが必要である。</p>					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	生涯学習活動支援体制の充実		番号	12		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をにう人づくり 第2節 生きがいのある生涯学習の推進 ② 生涯学習事業の充実		地教行法	21条12号		
			担当課名	社会教育グループ		
事業の目的	それぞれが目的を持って自主的に活動しやすい環境づくりに努め、学んだことが適切に評価され生かされる環境づくりを支援する。					
事業内容	グループ、サークル等学習団体の育成と支援体制を確立するとともに、人財確保、養成を図りながら関係機関と相互協力をして生涯学習を促進する。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		165	10	289	
	内一般財源 (千円)		82	10	289	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	サークル等への支援 *マナバンク登録者の減免措置		回	78	98	100
	公民館自主運営講座		団体数 /千円	1/20	1/0	2/200
	マナバンク (社会教育事業活用人員)		人	3	3	4
	連合PTA 補助金		千円	0	0	54
	連合婦人会 補助金		千円	0	-	-
	まちづくりコーディネーター養成講座		千円	20	10	35
	受講生数/延参加者数		人	11/90	20/140	20/100
	わくわく創年チャレンジ! 大学		千円	125	-	-
受講生数/延参加者数		人	(一般財源42) 7/26			
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない			
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	自主運営講座支援団体が少数ではあるが、近年増加の兆しがある。講座を継続して実施し、自主活動への働きかけを今後も進めていく。 まちづくりコーディネーター養成講座(高校生人財育成事業)では、4年度は八戸工大二高、八戸学院大学と連携し、町の魅力発信につながるアイデアの検討を行った。実践への移行も含め今後も継続的に実施していきたい。 社会教育関係団体については、4年度もコロナ禍によりほとんど活動することができなかった。町連合婦人会が、コロナ禍での活動の停滞、会員の高齢化、役員のなりてがいない等の理由から令和4年4月に解散した。(一部単位婦人会は活動を継続)					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	芸術文化活動の推進・文化施設等の整備			番号	13	
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第3節 地域に根ざした文化・スポーツの振興 ① 芸術・文化の振興			地教行法	21条12号	
				担当課名	社会教育グループ	
事業の目的	芸術・文化団体の活動、組織の強化、指導者の育成・確保、質の高い文化事業の展開への支援をし、豊かで個性ある町民文化の創造に努める。					
事業内容	優れた芸術・文化に触れる機会を提供。芸術・文化団体相互の交流促進。各種活動の支援と指導者の育成・確保。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		870	1,209	1,396	
	内一般財源 (千円)		870	1,209	1,396	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	町民文化祭事業費		千円	782	1,121	1,300
	町民文化祭 来場者数		人	1,600	4,000	4,000
	町民文化祭 地域ボランティア		人	46	50	50
	文化賞表彰(H13~)		千円	88	88	96
	表彰者数		人	4	9	5
	文化協会 加入団体数		団体	12	12	10
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	町民文化祭は、4年度は会場をハートフルプラザ、町民体育館に戻し、3年振りとなるステージ発表の実施と展示を町民体育館に集約する形で開催した。新しい展示方法とステージ発表を復活させ文化祭を開催することができ、大変好評であった。 文化協会は会員の高齢化が進んでおり、新規会員の開拓等の支援と同時にコロナ禍により発表機会が減少し活動に支障が出ている団体も見受けられることから発表機会の拡充を含めた支援の在り方の検討も必要である。また年間を通じて芸術作品が開設できるような図書館機能を含めた複合施設の新築、他施設活用等の対策が必要である。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	文化財の保存と活用・埋蔵文化財の保存		番号	14		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をにう人づくり 第3節 地域に根ざした文化・スポーツの振興 ② 文化遺産の保全		地教行法	21条14号		
			担当課名	社会教育グループ		
事業の目的	貴重な文化財を次世代に継承していくため、積極的な保存と活用を図り、町民の文化遺産に対する理解の促進に努める。					
事業内容	民俗芸能及び地域伝統文化の伝承活動と支援。開発行為に伴う埋蔵文化財の計画的な発掘調査の実施。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		1,937	1,254	1,366	
	内一般財源 (千円)		1,937	1,254	1,366	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	郷土誌はしかみ印刷製本費		千円	363	385	407
	郷土誌はしかみ 販売冊数		冊	14	3	10
	天然記念物管理保護謝金		千円	24	24	32
	文化財パトロール 実施遺跡数		ヶ所	31	29	29
	民俗資料収集館運営費		千円	869	845	927
	入館者数		人	98	167	200
	民俗芸能団体数		団体	7	7	7
	県重宝展示ケース等作成委託		千円	681	—	—
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
事業の評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	民俗資料の展示・整理、資料館開放、ボランティアガイドの活用、郷土誌はしかみの発行などにより、町民の文化遺産に対する理解の促進が図られている。また文化財パトロールにより、町内遺跡・天然記念物の保存活動に努めている。 資料館は、老朽化が著しく、破損箇所も拡大しているため、保存資料等の保護対策は急務である。資料館及び図書館機能を含めた複合施設の新築、他施設活用等の対策が必要である。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	スポーツ・レクリエーション活動の推進		番号	15		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をになう人づくり 第3節 地域に根ざした文化・スポーツの振興 ③ スポーツ・レクリエーション活動の振興		地教行法	21条13号		
			担当課名	社会教育グループ		
事業の目的	スポーツ・レクリエーション活動を促進し、町民のニーズに応えるため計画的な施設の補修・整備に努める。関係団体と連携しながら指導者の養成と活用を促進し、健康で明るく豊かな地域づくりを進める。					
事業内容	自主活動団体等の育成を促進。関係団体と連携を図りながら競技スポーツの強化・支援。スポーツ推進委員の資質の向上と育成。ニュースポーツの普及促進。町民の健康増進のための効果的な指導の充実。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		1,078	2,021	6,619	
	内一般財源 (千円)		1,078	1,908	6,469	
事業実績 成果 (指 標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	スポーツ推進委員の活用(報酬)		千円	146	156	340
	町体育協会補助金		千円	675	1,510	5,116
	スポーツ少年団補助金		千円	45	41	67
	町民大運動会		千円	0	0	582
	はしかみりレーマラソン		千円	80	0	0
	スポーツ賞表彰		千円	132	156	214
	表彰者数		人	17	24	26
	体力向上委託事業(Enjoy!サイクリング)		千円	0	158	300
				(一般財源0)	(一般財源45)	(一般財源150)
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)					
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
判定説明 及び考察	コロナ禍により、4年度も町体育行事がほとんど中止となった。(町民運動会、リレーマラソン、県スポ少フェス等)スポーツ推進委員自主事業のソフトバレーボール大会は、参加者を町内団体に限定し、開催することができた。体育協会については、コロナ禍によりつつじマラソン大会、県民体育大会及び競技協会主管大会等ほとんどが中止となった。三戸郡総合体育大会は、競技のみ制限を設けて実施した。平成28年度より、体育協会の事業の一部(支部対抗大会等)をライズはしかみが行っている。スポーツ少年団意見交換会を初めて開催し、活動方針の周知や課題の共有等を行った。体力向上事業は、コロナ禍により中止となった。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

事務事業名	スポーツ施設の充実		番号	16		
総合振興 計画の体系	第4章 未来をにう人づくり 第3節 地域に根ざした文化・スポーツの振興 ③ スポーツ・レクリエーション活動の振興		地教行法	21条13号		
			担当課名	社会教育グループ		
事業の目的	スポーツ・レクリエーション活動を促進し、町民のニーズに応えるため計画的な施設の補修・整備に努める。関係団体と連携しながら指導者の養成と活用を促進し、健康で明るく豊かな地域づくりを進める。					
事業内容	既存施設の計画的な補修・整備により利用者の利便性の向上を図り、多様化するニーズに応えるよう効率的な活用を推進する。					
事業の対象	全町民					
事業コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費 (千円)		27,316	37,851	84,363	
	内一般財源 (千円)		25,513	34,853	36,532	
事業実績 成果 (指標)	名 称		単 位	令和3年度(実績)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)
	トレーニングルーム運営費		千円	5,962 (一般財源4,948)	8,375 (一般財源6,749)	7,599 (一般財源6,399)
	利用延べ人数		人	5,473	8,983	9,800
	町民プール運営費		千円	11,815 (一般財源11,224)	19,273 (一般財源18,244)	20,028 (一般財源19,183)
	利用延べ人数		人	4,687	7,229	7,900
	体育館運営費(町民・中央)		千円	4,997 (一般財源4,799)	4,895 (一般財源4,553)	50,909 (一般財源5,124)
	利用延べ人数		人	9,282	18,313	18,500
	体育施設活用事業		千円	4,289	4,987	5,489
	学校施設(体育館/グラウンド) 利用延べ人数		人	10,582/4,874	15,649/5,503	16,000/6,000
	夜間照明(階上中)使用回数			114(回/年)	107	110
	テニスコート		千円	253 (一般財源0)	321 (一般財源311)	338 (一般財源337)
	利用延べ人数		人	2,130	1,544	1,600
	事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
<input type="checkbox"/> 増加		<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少		
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)						
<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する		<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)						
<input type="checkbox"/> 十分できている		<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない		
総合評価	B		優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている			
	判定説明 4年度は4月初旬に休館したものの、それ以降は感染対策をしながら通常開館した。各施設とも老朽化等による修繕を行い、利用者の利便性の向上を図っている。4年度は体育館のランプ交換の修繕や排煙窓修繕等を行った。交流館では、トレーニング室のマシン修繕や窓の改修工事を行った。プールではろ過機やボイラーの修繕を行った。 及び考察 小中学校の体育館を開放し、町立体育館を含めた町内体育館の利用調整や開放指導員の配置を行う体育施設活用事業では、町内体育施設の幅広い利用につながっている。					
事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		評 価 アドバイザーの 意 見	教育委員会評価の とおり認める		

【参考資料】

令和4年度教育委員会審議案件等一覧

○令和4年第4回 階上町教育委員会会議（令和4年4月4日）

- 報告第1号 事務の臨時代理の報告について
(令和4年度階上町就学援助認定保護の決定について)
- 報告第2号 事務の臨時代理の報告について
(令和4年度階上町立小学校及び中学校の区域外(学区外)就学許可について)
- 報告第3号 専決処分した事項の報告について
(階上町学校評議員の委嘱について)
- 報告第4号 専決処分した事項の報告について
(令和4年度スクールソーシャルワーカーの委嘱)
- 報告第5号 専決処分した事項の報告について
(階上町スポーツ推進委員の委嘱について)
- 報告第6号 専決処分した事項の報告について
(階上町幼児教育連絡協議会委員の委嘱について)

○令和4年第5回 階上町教育委員会会議（令和4年4月19日）

- 報告第1号 事務の臨時代理の報告について
(4月臨時議会に付議する令和3年度教育費補正予算について)

○令和4年第6回 階上町教育委員会会議（令和4年5月20日）

- 報告第1号 専決処分した事項の報告
(階上町教育支援委員会委員の委嘱について)
- 報告第2号 事務の臨時代理の報告について
(令和4年度階上町奨学金貸与者の決定について)
- 議案第1号 6月定例議会に付議する令和4年度教育費補正予算について
- 議案第2号 階上町給食センター運営委員会委員の委嘱について
- 議案第3号 令和3年度教育費繰越明許費繰越計算書について

○令和4年第7回 階上町教育委員会会議（令和4年8月24日）

- 報告第1号 事務の臨時代理の報告について
(外国語指導助手任用規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について)
- 報告第2号 事務の臨時代理の報告について
(階上町就学援助規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について)
- 報告第3号 事務の臨時代理の報告について
(令和4年度階上町奨学金貸与者の決定について)
- 議案第1号 9月定例議会に付議する令和3年度教育費決算の認定について
- 議案第2号 9月定例議会に付議する令和4年度教育費補正予算について

- 議案第 3 号 階上町教育委員会評価アドバイザーの委嘱について
- 議案第 4 号 階上町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○令和 4 年第 8 回 階上町教育委員会会議(令和 4 年 1 1 月 2 2 日)

- 報告第 1 号 専決処分した事項の報告について
(階上町スポーツ賞表彰審議会委員の委嘱について)
- 報告第 2 号 専決処分した事項の報告について
(階上町文化賞被表彰者について)
- 報告第 3 号 専決処分した事項の報告について
(階上町スポーツ賞被表彰者について)
- 報告第 4 号 事務の臨時代理の報告について
(令和 4 年度階上町奨学金貸与の決定について)
- 議案第 1 号 階上町文化賞表彰規則の制定について
- 議案第 2 号 階上町スポーツ賞表彰規則の制定について
- 議案第 3 号 令和 3 年度階上町教育委員会の事務の点検及び評価報告に関し議決を求めることについて
- 議案第 4 号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第 5 号 階上町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 6 号 階上町特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 7 号 階上町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 8 号 1 2 月定例議会に付議する令和 4 年度教育費補正予算について

○令和 5 年第 1 回 階上町教育委員会会議(令和 5 年 2 月 1 6 日)

- 報告第 1 号 事務の臨時代理の報告について
(階上町教育委員会会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について)
- 報告第 2 号 事務の臨時代理の報告について
(外国語指導助手任用規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について)
- 議案第 1 号 令和 5 年度階上町教育行政基本方針に関し議決を求めることについて
- 議案第 2 号 階上町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 3 号 3 月定例議会に付議する令和 4 年度教育費補正予算について
- 議案第 4 号 3 月定例議会に付議する令和 5 年度教育費当初予算について

○令和 5 年第 2 回 階上町教育委員会会議(令和 5 年 2 月 2 8 日)

- 報告第 1 号 事務の臨時代理の報告について
(学校職員の人事異動の内申について)
- 報告第 2 号 事務の臨時代理の報告について
(学校職員の人事異動の内申について)

○令和5年第3回 階上町教育委員会会議（令和5年3月27日）

- 報告第1号 専決処分した事項の報告について
（階上町教育委員会事務局職員の人事異動について）
- 報告第2号 事務の臨時代理の報告について
（学校職員の人事異動の内申について）
- 報告第3号 専決処分した事項の報告について
（階上町いじめ防止対策委員会委員の委嘱について）
- 議案第1号 階上町文化財指定について
- 議案第2号 階上町公民館規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について
- 議案第3号 階上町道仏交流センター規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について
- 議案第4号 階上町奨学金貸与規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について
- 議案第5号 階上町就学援助規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について
- 議案第6号 階上町教育委員会が取り扱う個人情報の保護に関する規則を廃止する教育委員会規則の制定について
- 議案第7号 階上町教育委員会会議規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について
- 議案第8号 階上町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について
- 議案第9号 階上町石鉢ふれあい交流館の組織等に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について

【参考資料】

階上町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱

(平成 20 年 5 月 20 日教育委員会要綱第 3 号)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価をするため、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の実施)

第 2 条 階上町教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、毎年、前年度の教育に関する事務が階上町教育委員会主要施策に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価するものとする。

(学識経験者等の知見の活用)

第 3 条 教育委員会は、点検及び評価についての客観性を確保するため、点検及び評価の実施方法並びにその内容等について意見を聴取するなど、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(点検及び評価の結果の活用)

第 4 条 点検及び評価の結果は、教育施策の企画立案等、効果的な教育行政の推進等に活用するものとする。

(町議会への報告等)

第 5 条 点検及び評価の結果については、報告書を策定して町議会へ提出するとともに公表するものとする。

(その他)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価に関し必要な事項については、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 20 年 6 月 6 日から施行する。

【参考資料】 関係法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律について

（通知）（一部省略）

19文科初第 535号

平成19年7月31日

文部科学事務次官通知

第一 改正法の概要

1 教育委員会の責任体制の明確化

（3）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととしたこと。点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとしたこと。

第二 留意事項

1 教育委員会の責任体制の明確化

- ① 今回の改正は、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任をはたしていく趣旨から行うものであること。
- ② 現在、すでに各教育委員会において、教育に関する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を議会に報告するなどの取組を行っている場合には、その手法を活用しつつ、適切に対応すること。
- ③ 点検及び評価を行う際、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることについては、点検及び評価の客観性を確保するためのものであること

を踏まえ、例えば、点検及び評価の方法や結果について学識経験者から意見を聴取する機会を設けるなど、各教育委員会の判断で適切に対応すること。